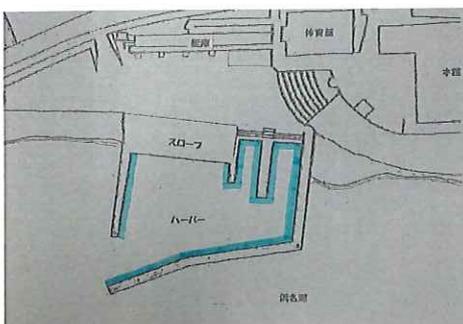


水辺活動

プログラム名(コース名)	魚釣り			
概要	手竿またはリール竿を使って、ハーバー内に生息する魚を釣る。			
ねらい	浜名湖の雄大な自然を肌で感じ、魚釣りを通じて魚釣りの楽しさと難しさを体験することができる。 魚に触れたり、よく観察したりして五感を働かせることにより、魚の生態や習性に気付くことができる。			
条件	対象	全年齢	人数(指導者人数)	～80人(3人以上)
	活動時間	60～180分	活動時期	5月中旬～10月
	活動場所	艇庫、ハーバー	費用	1竿 250円
	下見	要	活動名簿提出	不要
持ち物・準備	(個人)濡れてもよい服装、濡れてもよい靴(サンダル、クロックス不可)、軍手(必要に応じて) 飲料、帽子 (団体)えさ(青イソメ) ※えさは活動前に購入(裏面に近隣の魚釣りえさ販売店紹介あり) (貸出)手竿またはリール竿、バケツ、ライフジャケット ※竿の貸出しは合計40本まで可能。手竿は40本、リール竿は20本まで貸出し可能 ※手竿とリール竿の混合活動可。ただし、場所は分ける			
安全上の留意点 (対策方法)	釣り針、魚のひれ、有毒生物等による怪我(事前の注意喚起) 自然災害(事前に気象状況の把握) 落水(事前の注意喚起) 熱中症(暑さ指数等を考慮し休憩・水分補給を十分にとる、ミストシャワーを浴びて身体の冷却)			
<b>活動内容(手順)</b> 事 前 ①指導者配置:所定の《活動プログラム時の団体指導者の役割分担表》を作成、提出 ②グループ編成:2人1組(2人で釣竿1本、バケツ1個) ③下見の実施:活動エリア状況と安全把握 ④研修生への事前指導:「概要」「ねらい」「安全上の留意点」等を指導、服装や持ち物を確認				
活動前 ①打合せ(活動10分前):活動場所です員と団体責任者・担当指導者にて実施 実施判断:気象を基に、協議の上決定 確認事項:人数、健康状態、貸出備品				
活 動 ①指導:所員より 艇庫での説明(説明内容)えさのつけ方、注意事項等 ②活動開始:ハーバーへ移動し、場所を確認後、釣り実施 ③確認事項:人数、健康状態 ④釣れた生き物は浜名湖に戻し、釣竿とバケツを持ってマリーナ広場に戻る(水洗い、片付け方法は所員指示に従う) ※生き物の持ち帰りはできません ⑤振り返り:活動の感想を発表 ⑥片付け:備品の返却と確認、艇庫5番の棚にあるハンドソープを使い、水道で手を洗う。(使用後はもとの場所へ戻す)				

〈活動場所〉



◀ 魚釣りえさ 販売店 紹介 ▶

## えさや小寺

浜松市浜名区三ヶ日町鶴代<sup>ぬえしろ</sup>64-1  
TEL:053-524-1009

営業時間 5:30 ~ 20:00

※火曜定休（店舗向かいの自動販売機では餌を販売しています。）  
※あらかじめ「受取日時、金額」を事前に連絡することをお勧めします。

車の場合は片道約10分、徒歩の場合は片道約1時間です。

自動販売機

店舗



三ヶ日駅方面

魚釣りの活動に適した餌は「青イソメ」です。  
「青イソメ」は500円から販売しています。

※店舗向かいの自動販売機では、領収書発行はありません。



※写真は500円分の青イソメ  
(目安:釣竿5本・2時間程度の量)

三ヶ日青年の家では餌の保管はできません。  
(クーラーボックス等での餌の保管を推奨)